

生徒会プロローグ(1月第5週)

令和7年1月26日(月)

突然ですが、皆さんはブラックホールについて知っていますか?おそらく多くの人がブラックホールの存在について認知していると思います。ブラックホールは未知で謎のもので有名です。それについてNASAという組織がよく詳しく説明しています。NASAはアメリカに世界中の科学者たちが集まる宇宙研究の世界最高峰の組織です、私は宇宙そのものが好きなので、NASAが公開した記事をよく読んでいます。先日、そのNASAの記事を読み返していてお気に入りの記事に再び出会ったので、紹介したいと思います。それはブラックホールの音です。皆さんはブラックホールの音がどんな音が想像できますか?そもそも真空の宇宙に音が存在するわけがないと思いませんか?が、NASAの研究によれば、ブラックホールの周りがあるガスが震えることで巨大な音波が発生していることが分かったのです。実際にNASAがその音を捉え、私たちでも聞こえるように音を変換することに成功しました。その音はYouTubeで公開され、多くの人々が衝撃を受けました私もその音を聞きましたが、それは非常に不気味でまるで宇宙の唸り声のような音でした。もしこのブラックホールの音が気になったらぜひ後で調べてみてください。皆さんも教科書に書いてあることだけでなく、面白い!と思う不思議をたくさん見つけてみてください。そうすれば、自分の世界を広げるための、大切なステップに変わるかもしれませんね。

令和7年1月27日(火)

皆さん、夏目漱石を知っていますか?そう、「吾輩は猫である」を筆頭に数々の名作を生み出した、日本文学の文豪です。文豪ストレイトドッグスという漫画にも登場しますよね。なぜいきなり夏目漱石の話を出したかという、彼にまつわる話で私が好きなものがあり、紹介したいと思ったからです。明治時代、夏目漱石が英語教師をしていたとき、I love you.を直訳した生徒に対し、「日本人はそんな直接的な表現はしない。『月が綺麗ですね』くらいが奥ゆかしくてよい」通し得た逸話から、「月が綺麗ですね」という言葉が生まれました。ユーモアのある作品や、人間の心理的な葛藤や孤独、エゴイズムも描く小説家である彼だからこそ今も使われる表現なのでしょうね。この話は文献上の証拠はなく、真偽は不明とされていますが、今この言葉が伝わっているということは私たちがいるこの世界にどこかの時代で考えた人がいることは確証が持てますよね。この世界にはたくさんの方がいて、誰かのふとした思いつきで生まれるものがあり、後世まで語り継がれるものがあります。もしかしたら次歴史に名を残すのは皆さんかもしれませんよ。いまいろいろ悩んでいてもきっと大丈夫。春はもうすぐそこですよ。これも文学的な言い方なので気になった人は調べてみてくださいね。

令和7年1月28日(水)

今週からテスト期間になりましたが、みなさん授業に集中できていますか?私は正直、特に午後の授業でねむくなってしまふことが多々あります。私の他にもねむくなってしまっている人はいるのではないのでしょうか。なので、私は「授業中ねむくなってしまった時の対策について調べてみたので共有します。まず1つめは、姿勢をととのえる事です。猫背は、脳に酸素が運ばれてないため、誰よりも姿勢を正すこと。2つ目は、呼吸をとめることです。限界まで息をとめ、一気に吸うことで、脳に酸素が運ばれます。このような対策をしてみれば、少しでも眠気は飛ぶのではないのでしょうか。でも、まずはしっかりと睡眠をとり、ストレスなどを無くすことが1番です。テストまであと、2週間弱あります。みんなで頑張っていきましょう。

令和7年1月29日(木)

今日は豆知識クイズを出したいと思います。

1. かき氷を食べるときに頭がキーンとなることをアイスクリーシュ現象という。○か×か。

正解は○です。正式名称はアイスクリーム頭痛といいます。僕は頭がキーンとなったときは頭をがらがらたたきます。

2. ドイツは釣りをするためには何が必要でしょうか。

①ベンツ ②自分の会社 ③国家試験

正解は③の国家試験です。僕はドイツに行ったら釣りは諦めます。

3. ゆず胡椒にコショウは入っている。○か×か。

正解は×です。ちょっと不思議ですね。名前には入っているのに料理には入っていないのは、少し残念な気持ちになりますね。豆知識いろいろな場面で役立つかもしれません。だから最近調べています。

令和7年1月30日（金）

さて、2年生は、立志スキー学習を終え、将来の夢や希望について、深く考える機会となりました。3年生の皆さんは、いよいよ特色入試を控え、進路実現のための最後の追い込みの時期になります。そんな将来について、真剣に考える機会が多いこの時期に、面白い新聞記事を見つけました。今から25年前の2001年、当時の森首相の新年の記者会見でのエピソードです。森首相は、一通の手紙を持参していました。差出人は、その16年前、今から41年前の1985年の当時の首相、中曽根総理大臣でした。これは、1985年の茨城県つくば市で開かれた、科学万博で、つくば市の郵便局が保管して、2001年になったら届ける「ポストカプセル郵便」だそうです。手紙には、核兵器に廃絶や、科学の発展、世界に信頼される日本の姿がメッセージとして書かれていたそうです。手紙が渡されてから、25年先の未来を今の僕たちが生きています。確かに科学は発展し、生活は豊かになりました。しかし、世界では紛争が続いており、核兵器も残っています。今から25年後の自分たちは40歳ぐらいの大人です。一体どんな大人になって、どんな生活をしているのでしょうか。日本や世界はどのように変化しているのでしょうか。あまりに先のことで、実感がわきませんが、今日や明日の連続がその先の未来です。目の前の進路実現のための努力が25年先の僕たちを作っているはずです。よりよい未来のために今日をがんばったら、いいと思います。未来の自分へのメッセージを書いてみるのも面白いかもしれませんね。